

兵庫県支部

姫路市北部3町（香寺町、夢前町、安富町）活性化に関する調査 ～花・緑・湯煙香り心安らぐ夢の古里「ひめきた」～

私たち社団法人中小企業診断協会兵庫県支部の地域産業活性化研究会は、兵庫県支部の地域活性化を願う診断士10名で構成されています。

私たちは、地域の活性化とは「地域の人々が主体となり、地域に住む人たちが生き生きと元気に生活する環境を整え、地域の良さを楽しめるようにすること」であり、また、「地域経済の発展や雇用の創出を図ることによって実現するもの」と考えています。

当研究会では、これまで兵庫県下の町を毎年ひとつ取り上げ、その地域を活性化するためにはどのような取り組みをすればよいかをテーマに、複数回にわたる実地調査、発地点および着地点でのアンケート調査、市場性分析、研究会会員同士の討議など綿密な調査を行い、その地域にとって最もフィットした地域活性化策の提案を行ってまいりました。

本年度は、兵庫県姫路市北部の香寺町、夢前町、安富町の3町を取り上げました。これらの3町は、「ひめきた」の愛称で知られている地域です。「ひめきた」とは、姫路の北部エリアという意味です。

多くの方がご存じのとおり、姫路市は姫路城をはじめとした数多くの史跡や名所があり、全国から多数の観光客が集まるエリアです。しかし、そのすぐお隣の「ひめきた」（香寺町、夢前町、安富町の3町）は決して近隣の人にとっても知名度の高いエリアとはいえません。

しかし、今回も当研究会のメンバーが調査を進めるにつれて、多彩な顔を持ち、魅力ある強みをたくさん有しているエリアであることがわかりました。一方で、こうした強みや良さを、地元の人自身がきちんと認識されておらず、しっかりした賑わいづくりが行われていない現状も目にすることができました。

私たちの報告書は、こうした「ひめきた」（香寺町、夢前町、安富町の3町）エリアを少しでも魅力的な町にして、より多くの人々に訪れていただき、賑わいを創出することを目的としています。

もちろん、本報告書ではこれまでに培ってきた当研究会のノウハウをふんだんに使用しておりますので、多くの中小企業診断士の方々にとっても有用な第一級の資料となるものと自負しております。

本報告書は、「Ⅰ．提言編」と「Ⅱ．調査・分析編」から構成されています。「Ⅰ．提言編」の中の「第1章 地域活性化の概要」では、地域活性化の基本戦略として、地域活性化コンセプト、基本戦略の全体像、ターゲット顧客、活性化のステップなどについて説明しています。「第2章 地域活性化の具体策」では、「1. 活性化推進のための体制づくり」、「2. モデルコースづくり」、「3. 商品づくり」、「4. 情報発信・集客対策」、「5. 販売促進対策」について説明しています。

また、「Ⅱ．調査・分析編」は、「第1章 各種調査の分析と課題」と「第2章 SWOT分析に基づく課題」から構成されています。

末筆ながら、本報告書が一人でも多くの方の目に触れて、地域活性化活動の一助となることを心から願っております。